



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月15日

上場会社名 中央魚類株式会社
 コード番号 8030 URL <http://www.marunaka-net.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 伊藤 裕康

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 福元 勝志

TEL 03-6633-3000

定時株主総会開催予定日 2023年6月23日 配当支払開始予定日

2023年6月26日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月23日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|---------|-------|-------|------|-------|------|---------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期 | 137,482 | 12.8 | 2,014 | 1.6 | 2,127 | 4.7 | 1,387 | 20.4 |
| 2022年3月期 | 121,842 | △35.1 | 1,981 | 39.3 | 2,030 | 18.9 | 1,152 | △8.3 |

(注) 包括利益 2023年3月期 1,978百万円 (△8.3%) 2022年3月期 2,158百万円 (△20.6%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|----------|------------|-----------------------|----------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2023年3月期 | 347.40 | — | 5.7 | 2.9 | 1.5 |
| 2022年3月期 | 288.63 | — | 4.8 | 2.9 | 1.6 |

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 7百万円 2022年3月期 △2百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期 | 73,293 | 26,121 | 33.4 | 6,127.13 |
| 2022年3月期 | 71,613 | 29,031 | 34.1 | 6,116.62 |

(参考) 自己資本 2023年3月期 24,475百万円 2022年3月期 24,433百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|----------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2023年3月期 | 3,342 | △666 | △1,858 | 8,350 |
| 2022年3月期 | △814 | △795 | △453 | 7,532 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2022年3月期 | — | — | — | 70.00 | 70.00 | 279 | 24.3 | 1.2 |
| 2023年3月期 | — | — | — | 70.00 | 70.00 | 279 | 20.1 | 1.1 |
| 2024年3月期(予想) | — | — | — | 70.00 | 70.00 | | 20.7 | |

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|------|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 125,000 | △9.1 | 1,900 | △5.7 | 2,100 | △1.3 | 1,350 | △2.7 | 337.96 |

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2023年3月期 | 4,315,300 株 | 2022年3月期 | 4,315,300 株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期 | 320,760 株 | 2022年3月期 | 320,681 株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2023年3月期 | 3,994,592 株 | 2022年3月期 | 3,994,644 株 |

(参考)個別業績の概要

2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|--------|-------|------|-------|------|------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期 | 98,182 | 17.0 | 612 | 37.2 | 831 | 2.2 | 635 | △34.8 |
| 2022年3月期 | 83,881 | △11.9 | 446 | 370.6 | 813 | 47.2 | 974 | 18.0 |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | 159.08 | — |
| 2022年3月期 | 243.93 | — |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|----------|--|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 | | |
| 2023年3月期 | 35,990 | 18,227 | 18,227 | 17,447 | 50.6 | 4,563.17 | | |
| 2022年3月期 | 28,463 | 17,447 | 17,447 | 17,447 | 61.3 | 4,367.85 | | |

(参考) 自己資本 2023年3月期 18,227百万円 2022年3月期 17,447百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きな異なる可能性があります。業績予想前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 財政状態の概況 | 2 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| 連結損益計算書 | 7 |
| 連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | |
| (継続企業の前提に関する注記) | 13 |
| (セグメント情報) | 13 |
| (1株当たり情報) | 16 |
| (重要な後発事象) | 17 |
| 4. その他 | 18 |
| (1) 役員の異動 | 18 |
| (2) その他 | 18 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響は続いたものの、行動制限の解除や水際対策の緩和、全国旅行支援等により人流やインバウンド需要が回復し、消費が前年比プラスで推移するなど内需を中心に緩やかに持ち直しました。一方で、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に起因する資源価格の上昇や、世界的な金融引き締めによる為替の円安進行はエネルギー、食品等の国内物価を上昇させ、家計や企業活動に影響を与えており、依然として先行き不透明な状態が続いております。

当社グループの主力事業である水産物卸売業界においては、ウィズコロナの対応が進み外食需要の回復や輸出需要が拡大しましたが、巣ごもり需要の減少や物価高による消費者の生活防衛意識の高まり等により販売環境は厳しくなっております。また、水産資源の減少や海水温の変化による漁期や漁場の変化に起因すると思われる不漁の影響により、卸売市場における水産物取扱数量は、前年対比減少しました。

このような状況のもと、水産物卸売事業ではグループ内の流通機能を活用するとともに、出荷者との取り組みを強化して集荷に努めた結果、水産物全般の単価高もあり売上高は堅調に推移しました。冷蔵倉庫事業では保管荷役料の値上げや業務の効率化に努めましたが、人件費の増加や電力料の値上げにより営業費が増加し、利益は減少しました。

この結果、当社グループ売上高は137,482百万円（前年同期比12.8%増）となり、営業利益は2,014百万円（前年同期比1.6%増）、経常利益は2,127百万円（前年同期比4.7%増）となりました。なお、2023年1月31日に連結子会社である千葉中央魚類株式会社を解散したことにより、関係会社整理損68百万円を特別損失に計上しました。また、2022年3月から2022年4月12日に当社の連結子会社である株式会社ハウスイの普通株式に対する公開買い付けを実施し、同社の普通株式を取得したこと等により、非支配株主に帰属する当期純利益が129百万円（前年同期比77.7%減）となりました。以上により、親会社株主に帰属する当期純利益は1,387百万円（前年同期比20.4%増）となりました。

セグメント別の業績概況は次のとおりであります。

水産物卸売事業は、冷凍本マグロ、塩銀鮭、国内マグロ、活マダイ、国内ウニの売上高は前年を上回りましたが、養殖ハマチ、養殖マダイ、養殖カンパチ、タラバガニ、インドマグロは全体的に厳しい販売状況となり、セグメント売上高は128,909百万円（前年同期比12.7%増）となりましたが、集荷販売経費増により、セグメント利益は883百万円（前年同期比7.5%減）となりました。

冷蔵倉庫事業は、保管料・荷役料の値上げにより売上高は7,354百万円（前年同期比13.4%増）となりましたが、電力料等の値上げにより、セグメント利益は550百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

不動産賃貸事業は、豊海流通センターの稼働開始により売上高629百万円（前年同期比15.7%増）となり、セグメント利益は542百万円（前年同期比27.1%増）となりました。

荷役事業は、量販店等への配送業務が増加したため、売上高588百万円（前年同期比24.0%増）となりましたが、外注委託の増加により、セグメント利益は31百万円（前年同期比15.5%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,679百万円増の73,293百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加817百万円、売掛金の増加770百万円、商品及び製品の増加645百万円、有形固定資産の減少826百万円、投資その他の資産の増加782百万円によるものです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4,590百万円増の47,172百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加693百万円、短期借入金が増加2,650百万円によるものです。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,910百万円減少し26,121百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益1,387百万円の計上、2022年3月から2022年4月12日に当社の連結子会社である株式会社ハウスイの普通株式に対する公開買い付けを実施し、同社の普通株式を取得したことなどによる資本剰余金1,348百万円の減少、非支配株主持分2,951百万円の減少、剰余金の配当279百万円によるものです。その結果、自己資本比率は33.4%（前連結会計年度末34.1%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動において増加したものの、投資活動及び財務活動において減少し、8,350百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、3,342百万円（前年同期814百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益2,301百万円、減価償却費2,214百万円、棚卸資産の増加額641百万円、売上債権の増加額743百万円、仕入債務の増加額693百万円、法人税等の支払額1,012百万円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、666百万円（前年同期795百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出722百万円、有形固定資産の売却による収入205百万円、無形固定資産の取得による支出263百万円、長期預り保証金の返還による支出83百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、1,858百万円（前年同期453百万円の使用）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額2,650百万円、長期借入れによる収入3,000百万円、長期借入金の返済による支出2,355百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出4,581百万円等によるものです。

キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 第72期 2019年3月期 | 第73期 2020年3月期 | 第74期 2021年3月期 | 第75期 2022年3月期 | 第76期 2023年3月期 |
|----------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 自己資本比率(%) | 30.2 | 31.9 | 33.6 | 34.1 | 33.4 |
| 時価ベースの自己資本比率(%) | 15.3 | 15.0 | 17.1 | 16.6 | 16.3 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年) | 17.2 | 4.4 | 4.5 | — | 8.4 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍) | 9.6 | 29.6 | 28.9 | — | 17.0 |

(注)自己資本比率 : 自己資本/総資産
 時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産
 キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/キャッシュ・フロー
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー/利払い

(注1)各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2)株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3)キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4)有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(注5)営業キャッシュ・フローがマイナスの期につきましては、キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)およびインタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)を記載しておりません。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルスの感染症法上の分類が2023年5月8日より季節性インフルエンザなどと同じ5類感染症に引き下げることが決定し、経済優先の政策やインバウンド消費による外食や宿泊需要等のサービス分野での回復が見込まれる一方、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、インフレ抑制に向けた世界的な金融引き締め下での景気減速も懸念される状況の中、2024年3月期の連結業績予想につきましては、売上高1,250億円、営業利益19億円、経常利益21億円、親会社株主に帰属する当期純利益13億5千万円としております。

水産物卸売事業は、高機能化された豊洲市場と当社グループ各社が持つ冷蔵保管、リテールサポート、荷役、加工等の各機能を最大限に活かし、サプライチェーンの拡充に努め、水産物の集荷販売拡大に注力して参ります。

冷蔵倉庫事業は、首都圏で約218,000トンとなる冷凍・冷蔵保管スペースをより効率的に活用し、グループ各社との連携による集荷、保管、配送のトータル物流サービスを担いつつ、着実な事業の拡充を図って参ります。

不動産賃貸事業は、資産の効率的運用の観点から引き続き有効活用の検討を進めて参ります。

荷役事業は、豊洲市場内外で荷役・配送作業が円滑に行われるよう業務の効率化に向けて合理的な人員配置と経費の節減に取り組んで参ります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、中央卸売市場における水産物卸売業者として、公共的使命のもと安定的経営基盤を確保し、業績に対応した配当を行うことを前提としつつも、営業基盤の強化や財務体質の健全性あるいは今後の事業展開への備えなどを総合的に勘案し、安定した配当の継続に努めることを基本方針としております。

内部留保資金は、健全な企業体質の維持と将来予想される市場環境の変化に対応可能な営業力の強化に役立てたいと考えております。

なお、当連結会計年度の期末配当金につきましては、2023年3月期の業績を勘案し株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、2023年3月期の期末配当につきましては、当初予想の普通配当60円に10円を加えた1株当たり70円とさせていただきます。存じます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの主要な利害関係者は、国内の株主、債権者、取引先等であり、国際的な事業展開や海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を採用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当連結会計年度 (2023年3月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,542 | 8,360 |
| 受取手形 | 27 | — |
| 売掛金 | 11,929 | 12,699 |
| 前渡金 | 24 | — |
| 商品及び製品 | 8,169 | 8,814 |
| 原材料及び貯蔵品 | 52 | 48 |
| その他 | 1,015 | 285 |
| 貸倒引当金 | △359 | △394 |
| 流動資産合計 | 28,402 | 29,815 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 38,349 | 38,560 |
| 減価償却累計額 | △16,285 | △17,456 |
| 建物及び構築物 (純額) | 22,063 | 21,103 |
| 機械装置及び運搬具 | 6,149 | 6,549 |
| 減価償却累計額 | △4,528 | △4,852 |
| 機械装置及び運搬具 (純額) | 1,621 | 1,697 |
| 土地 | 6,354 | 6,296 |
| リース資産 | 1,564 | 1,656 |
| 減価償却累計額 | △867 | △878 |
| リース資産 (純額) | 697 | 777 |
| その他 | 1,032 | 1,124 |
| 減価償却累計額 | △829 | △889 |
| その他 (純額) | 202 | 235 |
| 建設仮勘定 | — | 2 |
| 有形固定資産合計 | 30,940 | 30,113 |
| 無形固定資産 | | |
| 借地権 | 2,341 | 2,449 |
| のれん | 28 | — |
| その他 | 579 | 810 |
| 無形固定資産合計 | 2,949 | 3,259 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 7,833 | 8,683 |
| 長期貸付金 | 82 | 42 |
| 差入保証金 | 300 | 302 |
| 繰延税金資産 | 398 | 438 |
| 退職給付に係る資産 | 588 | 560 |
| その他 | 290 | 199 |
| 貸倒引当金 | △172 | △122 |
| 投資その他の資産合計 | 9,322 | 10,104 |
| 固定資産合計 | 43,211 | 43,478 |
| 資産合計 | 71,613 | 73,293 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当連結会計年度 (2023年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 10,097 | 10,790 |
| 短期借入金 | 4,400 | 7,050 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,798 | 2,133 |
| 未払金 | 187 | 519 |
| 未払法人税等 | 619 | 374 |
| 賞与引当金 | 259 | 288 |
| 役員賞与引当金 | 31 | 31 |
| 修繕引当金 | 20 | 53 |
| その他 | 2,567 | 2,718 |
| 流動負債合計 | 19,980 | 23,960 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 18,538 | 18,848 |
| 長期末払金 | 205 | 211 |
| 繰延税金負債 | 1,159 | 1,427 |
| 役員退職慰労引当金 | 13 | 8 |
| 退職給付に係る負債 | 1,460 | 1,455 |
| その他 | 1,224 | 1,260 |
| 固定負債合計 | 22,601 | 23,212 |
| 負債合計 | 42,582 | 47,172 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,995 | 2,995 |
| 資本剰余金 | 1,348 | — |
| 利益剰余金 | 17,636 | 18,570 |
| 自己株式 | △695 | △700 |
| 株主資本合計 | 21,285 | 20,865 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,040 | 3,568 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 107 | 41 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,148 | 3,609 |
| 非支配株主持分 | 4,597 | 1,646 |
| 純資産合計 | 29,031 | 26,121 |
| 負債純資産合計 | 71,613 | 73,293 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 121,842 | 137,482 |
| 売上原価 | 109,329 | 124,318 |
| 売上総利益 | 12,513 | 13,163 |
| 販売費及び一般管理費 | 10,531 | 11,149 |
| 営業利益 | 1,981 | 2,014 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 27 | 6 |
| 受取配当金 | 197 | 298 |
| 仕入割引 | 54 | — |
| 持分法による投資利益 | — | 7 |
| その他 | 91 | 110 |
| 営業外収益合計 | 370 | 423 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 178 | 196 |
| 持分法による投資損失 | 2 | — |
| 子会社株式取得関連費用 | 110 | — |
| その他 | 30 | 114 |
| 営業外費用合計 | 321 | 310 |
| 経常利益 | 2,030 | 2,127 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 224 | 93 |
| 投資有価証券売却益 | 99 | 27 |
| 補助金収入 | 159 | 150 |
| 固定資産圧縮特別勘定取崩額 | 92 | — |
| 特別利益合計 | 576 | 272 |
| 特別損失 | | |
| 関係会社株式売却損 | 124 | — |
| 関係会社整理損 | — | 68 |
| 固定資産圧縮損 | — | 30 |
| 特別損失合計 | 124 | 98 |
| 税金等調整前当期純利益 | 2,483 | 2,301 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 799 | 760 |
| 法人税等調整額 | △49 | 23 |
| 法人税等合計 | 749 | 783 |
| 当期純利益 | 1,733 | 1,517 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 580 | 129 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,152 | 1,387 |

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 1,733 | 1,517 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 419 | 527 |
| 退職給付に係る調整額 | 5 | △66 |
| その他の包括利益合計 | 425 | 461 |
| 包括利益 | 2,158 | 1,978 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 1,578 | 1,849 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 579 | 129 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|----------------------|-------|-------|--------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 2,995 | 1,348 | 16,775 | △695 | 20,424 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △239 | | △239 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 1,152 | | 1,152 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 連結範囲の変動 | | | △52 | | △52 |
| 非支配株主との取引に係る親会社の持分変動 | | | | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 861 | △0 | 861 |
| 当期末残高 | 2,995 | 1,348 | 17,636 | △695 | 21,285 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|----------------------|--------------|--------------|---------------|---------|--------|
| | その他有価証券評価差額金 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 2,621 | 101 | 2,722 | 4,098 | 27,245 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △239 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | 1,152 |
| 自己株式の取得 | | | | | △0 |
| 連結範囲の変動 | | | | | △52 |
| 非支配株主との取引に係る親会社の持分変動 | | | | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 419 | 5 | 425 | 499 | 924 |
| 当期変動額合計 | 419 | 5 | 425 | 499 | 1,785 |
| 当期末残高 | 3,040 | 107 | 3,148 | 4,597 | 29,031 |

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|----------------------|-------|--------|--------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 2,995 | 1,348 | 17,636 | △695 | 21,285 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △279 | | △279 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 1,387 | | 1,387 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 連結範囲の変動 | | | | | |
| 非支配株主との取引に係る親会社の持分変動 | | △1,348 | △174 | △4 | △1,527 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | △1,348 | 933 | △4 | △419 |
| 当期末残高 | 2,995 | — | 18,570 | △700 | 20,865 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|----------------------|--------------|--------------|---------------|---------|--------|
| | その他有価証券評価差額金 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 3,040 | 107 | 3,148 | 4,597 | 29,031 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △279 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | 1,387 |
| 自己株式の取得 | | | | | △0 |
| 連結範囲の変動 | | | | | |
| 非支配株主との取引に係る親会社の持分変動 | | | | △3,058 | △4,586 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 527 | △66 | 461 | 106 | 568 |
| 当期変動額合計 | 527 | △66 | 461 | △2,951 | △2,910 |
| 当期末残高 | 3,568 | 41 | 3,609 | 1,646 | 26,121 |

(4)連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|---------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 2,483 | 2,301 |
| 減価償却費 | 2,153 | 2,214 |
| のれん償却額 | 28 | 28 |
| 持分法による投資損益(△は益) | 2 | △7 |
| 固定資産圧縮特別勘定取崩 | △92 | — |
| 固定資産圧縮損 | — | 30 |
| 関係会社整理損 | — | 22 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 7 | 29 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | 9 | △0 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △1 | △4 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △387 | 63 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | △179 | △4 |
| 退職給付に係る資産の増減額(△は増加) | 149 | 28 |
| 受取利息及び受取配当金 | △224 | △305 |
| 支払利息 | 178 | 196 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △99 | △27 |
| 関係会社株式売却損益(△は益) | 124 | — |
| 有形固定資産売却損益(△は益) | △224 | △93 |
| 補助金収入 | △159 | △150 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △1,193 | △743 |
| 前渡金の増減額(△は増加) | △16 | 24 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △2,801 | △641 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 590 | 693 |
| 長期未払金の増減額(△は減少) | 11 | 6 |
| 未収消費税等の増減額(△は増加) | △162 | 161 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △329 | 118 |
| その他 | △253 | 312 |
| 小計 | △387 | 4,252 |
| 利息及び配当金の受取額 | 223 | 299 |
| 利息の支払額 | △179 | △196 |
| 法人税等の支払額 | △470 | △1,012 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △814 | 3,342 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|----------------------------|--|--|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,843 | △722 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 378 | 205 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △17 | △263 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △5 | △122 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 133 | 38 |
| 関係会社株式の売却による収入 | 115 | — |
| 差入保証金の差入による支出 | △0 | △2 |
| 差入保証金の回収による収入 | 2 | 5 |
| 長期預り保証金の返還による支出 | △20 | △83 |
| 預り保証金の受入による収入 | 70 | 51 |
| 貸付けによる支出 | △101 | △79 |
| 貸付金の回収による収入 | 335 | 155 |
| 補助金の受取による収入 | 159 | 150 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △795 | △666 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 400 | 2,650 |
| 長期借入れによる収入 | 1,550 | 3,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,826 | △2,355 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △252 | △285 |
| 配当金の支払額 | △237 | △279 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △0 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △87 | △5 |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 | — | △4,581 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △453 | △1,858 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △2,062 | 817 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 9,579 | 7,532 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 15 | — |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 7,532 | 8,350 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社及び当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品・サービス別に、連結子会社においても、商品・サービス別に報告を受け、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、各社別のセグメントから構成されており、「水産物卸売事業」、「冷蔵倉庫事業」、「不動産賃貸事業」及び「荷役事業」の4つを報告セグメントとしております。

「水産物卸売事業」は水産物及びその加工製品の販売を行っております。「冷蔵倉庫事業」は水産物等の冷蔵保管を行っております。「不動産賃貸事業」は所有不動産、土地の賃貸を行っております。「荷役事業」は水産物等の運搬作業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益および振替高は市場実勢価額に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 連結 財務諸表 計上額(注)2 |
|------------------------|-------------|------------|-------------|------|---------|-------------|-----------------------|
| | 水産物 卸売事業 | 冷蔵 倉庫事業 | 不動産 賃貸事業 | 荷役事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 114,336 | 6,486 | 544 | 474 | 121,842 | — | 121,842 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 3 | 338 | 175 | 342 | 860 | △860 | — |
| 計 | 114,340 | 6,824 | 719 | 817 | 122,703 | △860 | 121,842 |
| セグメント利益 | 955 | 563 | 426 | 36 | 1,982 | △0 | 1,981 |
| セグメント資産 | 32,238 | 25,528 | 7,129 | 460 | 65,357 | 6,256 | 71,613 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 | 430 | 1,667 | 39 | 15 | 2,153 | — | 2,153 |
| のれん償却額 | 28 | — | — | — | 28 | — | 28 |
| 有形固定資産及び無形固定資産 の増加額 | 699 | 353 | 2,135 | 30 | 3,217 | — | 3,217 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

セグメント資産の調整額6,256百万円には、報告セグメントに帰属しない全社資産9,252百万円及びセグメント間取引消去△2,996百万円が含まれております。全社資産の主なもの、提出会社の現金及び預金、長期投資資金(投資有価証券)等であります。

2. セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 連結 財務諸表 計上額(注)2 |
|------------------------|-------------|------------|-------------|------|---------|-------------|-----------------------|
| | 水産物 卸売事業 | 冷蔵 倉庫事業 | 不動産 賃貸事業 | 荷役事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 128,909 | 7,354 | 629 | 588 | 137,482 | — | 137,482 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 3 | 370 | 318 | 251 | 943 | △943 | — |
| 計 | 128,912 | 7,724 | 948 | 840 | 138,425 | △943 | 137,482 |
| セグメント利益 | 883 | 550 | 542 | 31 | 2,007 | 6 | 2,014 |
| セグメント資産 | 32,780 | 24,335 | 6,897 | 480 | 64,494 | 8,799 | 73,293 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 | 409 | 1,645 | 137 | 21 | 2,214 | — | 2,214 |
| のれん償却額 | 28 | — | — | — | 28 | — | 28 |
| 有形固定資産及び無形固定資産 の増加額 | 961 | 619 | 381 | 17 | 1,980 | — | 1,980 |

(注) 1. セグメント利益の調整額6百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

セグメント資産の調整額8,799百万円には、報告セグメントに帰属しない全社資産13,366百万円及びセグメント間取引消去△4,567百万円が含まれております。全社資産の主なもの、提出会社の現金及び預金、長期投資資金(投資有価証券)等であります。

2. セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報開示しているため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結財務諸表の売上高の10%以上を占める顧客が存在しないため記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報開示しているため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結財務諸表の売上高の10%以上を占める顧客が存在しないため記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：百万円)

| | 水産物 卸売事業 | 冷蔵 倉庫事業 | 不動産 賃貸事業 | 荷役事業 | 調整額 | 合計 |
|-------|-------------|------------|-------------|------|-----|----|
| 当期償却額 | 28 | — | — | — | — | 28 |
| 当期末残高 | 28 | — | — | — | — | 28 |

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：百万円)

| | 水産物 卸売事業 | 冷蔵 倉庫事業 | 不動産 賃貸事業 | 荷役事業 | 調整額 | 合計 |
|-------|-------------|------------|-------------|------|-----|----|
| 当期償却額 | 28 | — | — | — | — | 28 |
| 当期末残高 | — | — | — | — | — | — |

【報告セグメントごとの負ののれんの発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 6,116.62円 | 6,127.13円 |
| 1株当たり当期純利益 | 288.63円 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 については、潜在株式がないため記載 していません。 | 347.40円 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 については、潜在株式がないため記載 していません。 |

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|---------------------------------|--|--|
| 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) | 1,152 | 1,387 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益(百万円) | 1,152 | 1,387 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 3,994,644 | 3,994,592 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

①取締役の変動(2023年6月23日付予定)

- ・昇格

代表取締役社長 今村 忠如 (現 社外取締役)

- ・新任取締役候補

取締役 三田 薫 (現 当社常勤監査役)

社外取締役 山口 敬三 (現 株式会社極洋 取締役東京支社長)

社外取締役 木曾 琢真 (現 (一社)日本経済調査協議会顧問)

- ・退任予定取締役

伊藤 晴彦 (現 当社代表取締役社長 株式会社ハウスイ代表取締役社長に就任予定)

②監査役の変動

- ・新任監査役候補

常勤監査役 池本 新介 (現 (一社)豊洲市場7街区物流施設管理協議会)

常勤社外監査役 澤野 敬一 (現 常勤社外監査役(再任))

社外監査役(非常勤) 平尾 嘉昭 (現 弁護士)

- ・辞任予定監査役

三田 薫 (当社常勤監査役)

服部 篤 (当社社外監査役)

③執行役員の変動(2023年6月23日付予定)

- ・新任予定執行役員

川口 和哉 (元 永谷園ホールディングス常務執行役員)

(2) その他

該当事項はありません。